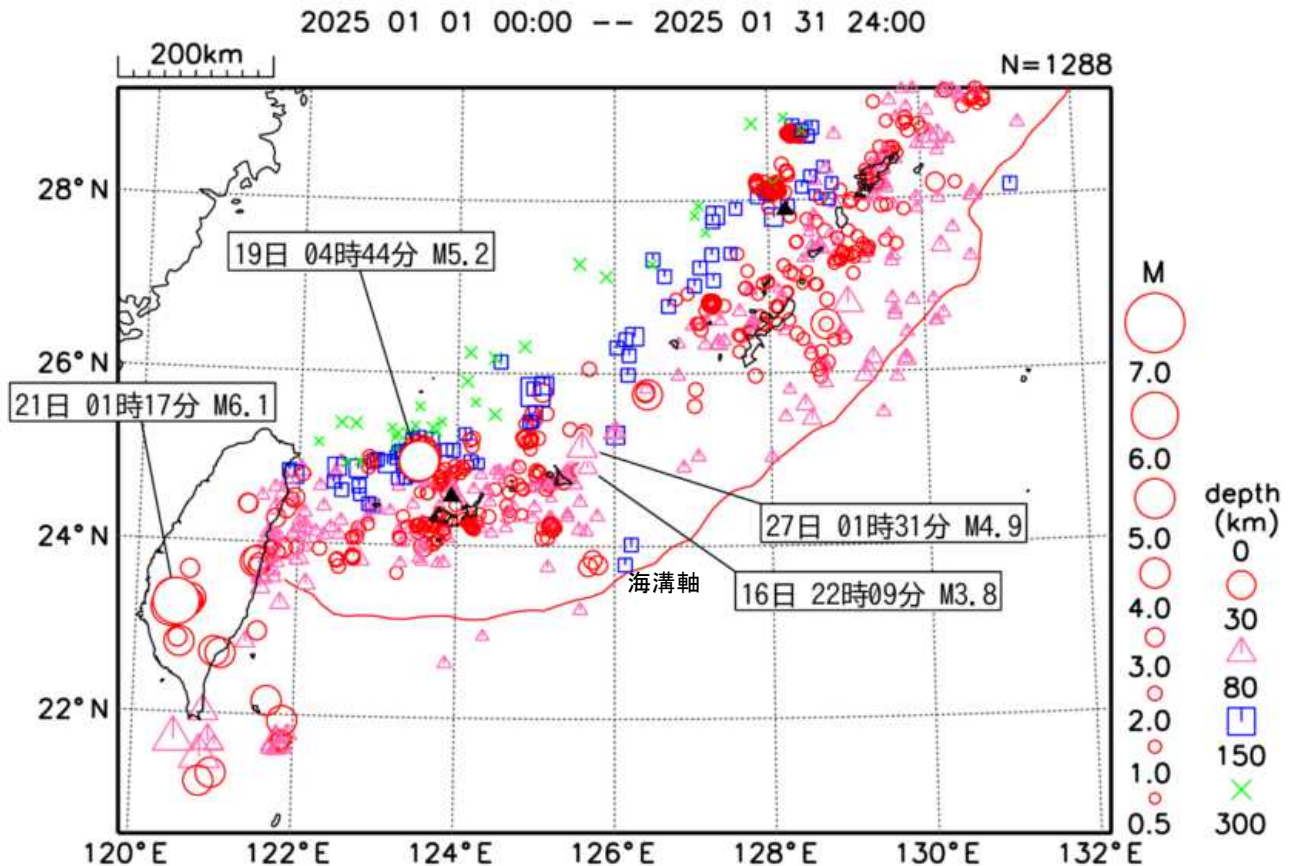


沖縄地方の地震活動

令和7年（2025年）1月

沖縄気象台

図1 沖縄県及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です）
▲：活火山

沖縄県内で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に沖縄県内で震度1以上を観測した地震は4回（12月は0回）でした。

1月の主な活動は次のとおりです。

21日01時17分 台湾付近の地震（M6.1）により、石垣市から与那国町にかけて震度1を観測しました（別紙参照）。

27日01時31分 宮古島近海の地震（M4.9）により、宮古島市で震度2～1を観測したほか、多良間村及び石垣市で震度1を観測しました。

図 2 - 1 沖縄本島付近の震央分布図及び断面図

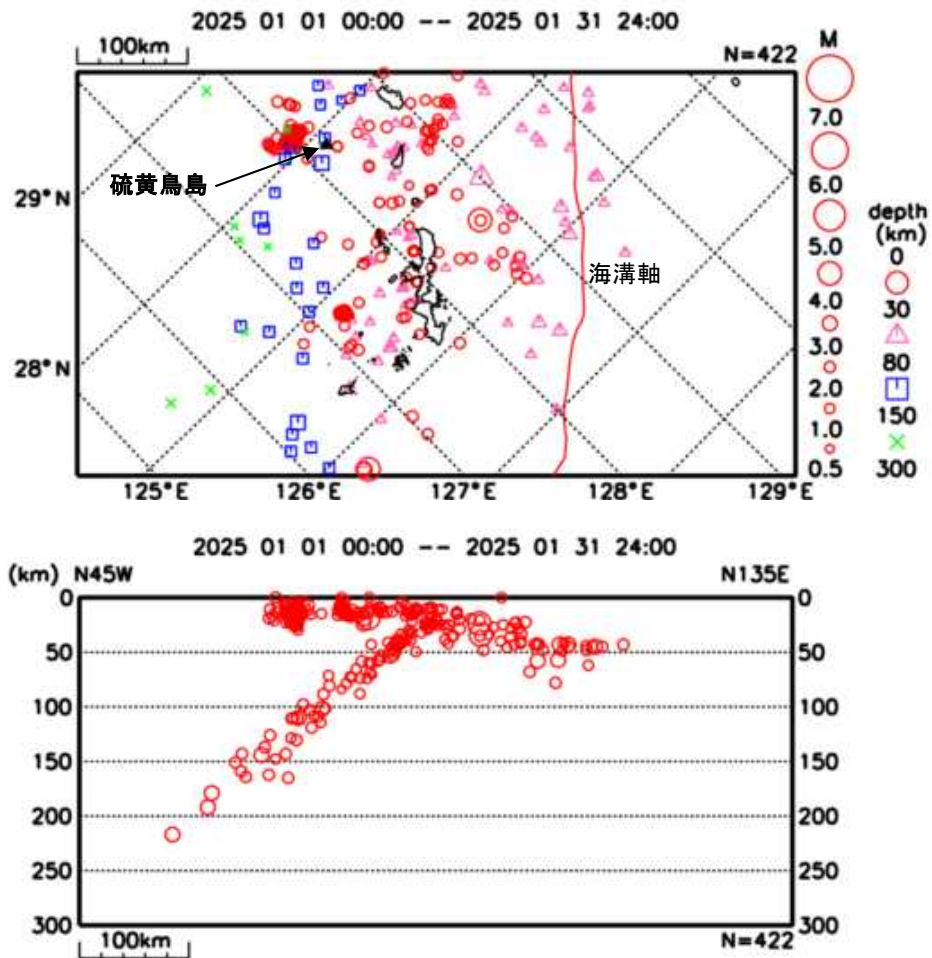


図 2 - 2 宮古・八重山諸島付近の震央分布図及び断面図

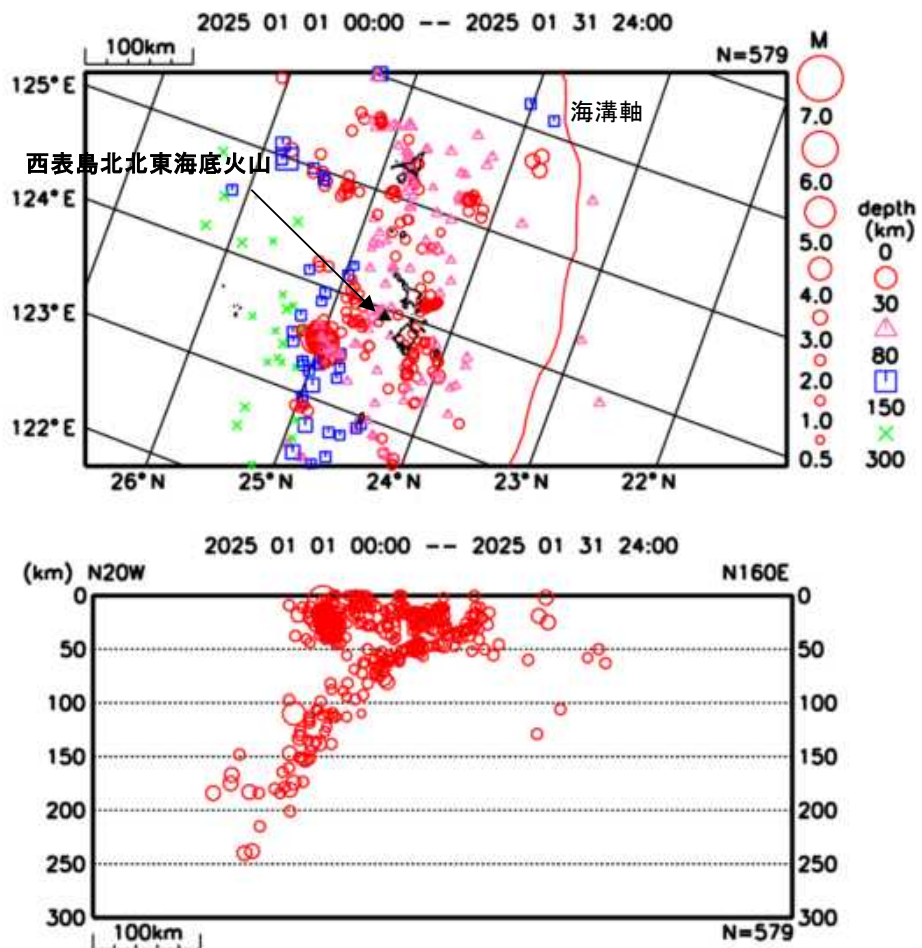


图3 震度分布图

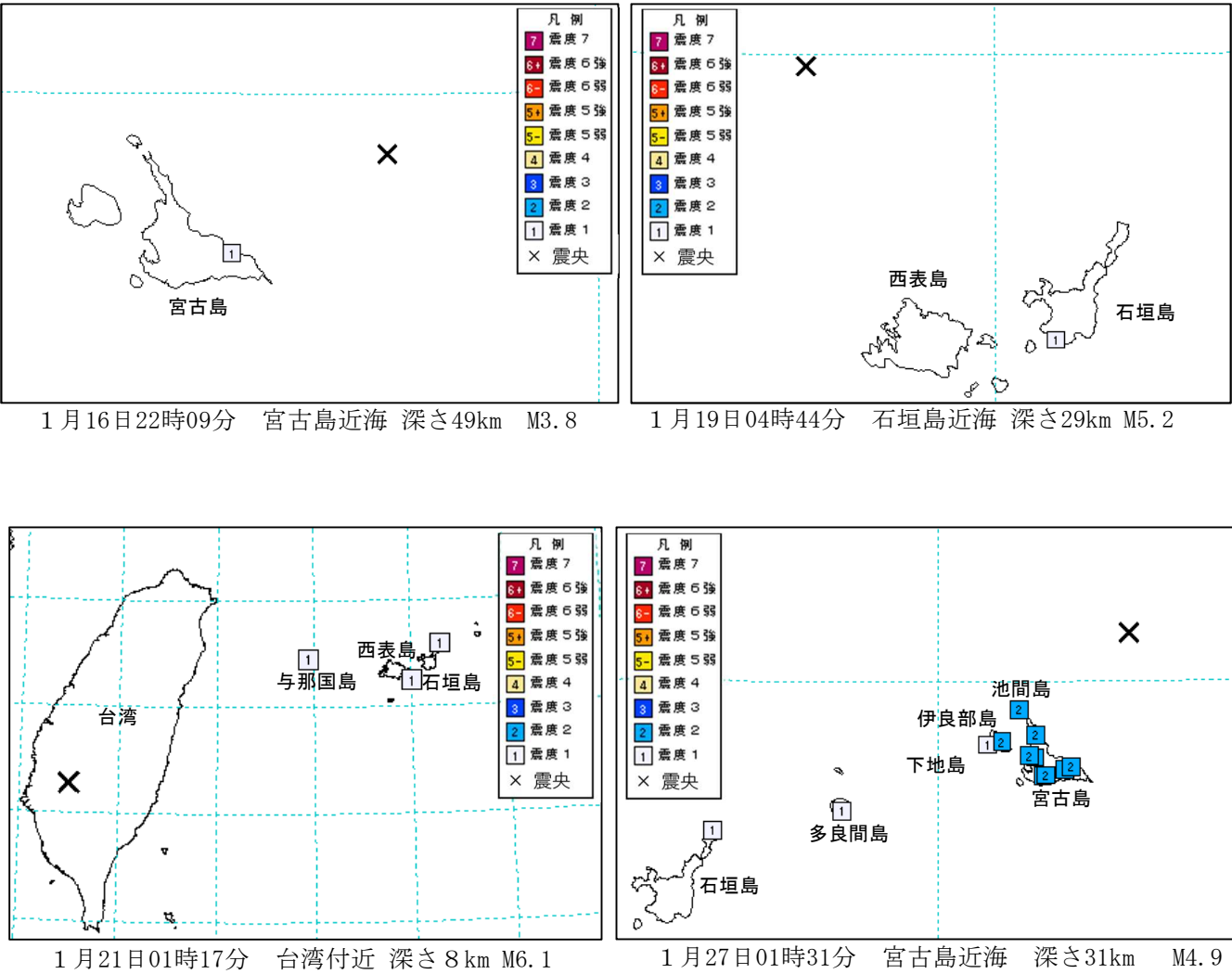


表 1 沖縄県内で震度 1 以上を観測した地震の表（期間 1 月 1 日～1 月 31 日）

震源時 各地の震度	震 央 地 名	緯 度	経 度	深 さ	規 模
2025年01月16日22時09分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市城辺福北	宮古島近海	24° 54.6' N	125° 39.4' E	49km	M3.8
2025年01月19日04時44分 沖縄県 震度 1 : 石垣市新栄町＊	石垣島近海	24° 58.3' N	123° 31.0' E	29km	M5.2
2025年01月21日01時17分 沖縄県 震度 1 : 石垣市平久保, 与那国町久部良, 竹富町黒島	台湾付近	23° 16.5' N	120° 29.9' E	8km	M6.1
2025年01月27日01時31分 沖縄県 震度 2 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市上野新里 宮古島市伊良部前里添, 宮古島市平良狩俣＊, 宮古島市城辺福西＊ 宮古島市上野支所＊, 宮古島市平良西里＊ 震度 1 : 多良間村塩川, 宮古島市下地島空港＊, 石垣市平久保	宮古島近海	25° 08.1' N	125° 35.1' E	31km	M4.9

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄地方以外に震度が観測された場合は、その震度も記載します。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※ データについては精査により、後日修正することがあります。

詳細は沖縄気象台ホームページで閲覧できます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

震度 1 以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」でご覧になれます。

URL <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>

地震・津波・火山に関する防災一口メモ

URL <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>

本件に関する問い合わせ先：沖縄気象台地震火山課 098-917-7927

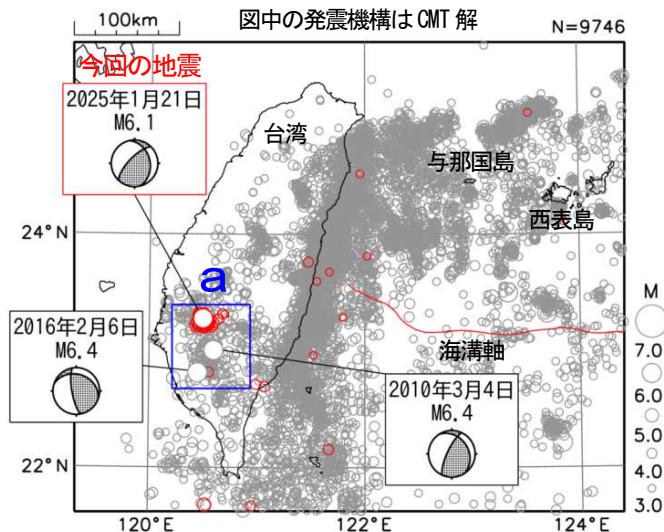
1月21日 台湾付近の地震

震央分布図

(2009年9月1日～2025年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2025年1月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解



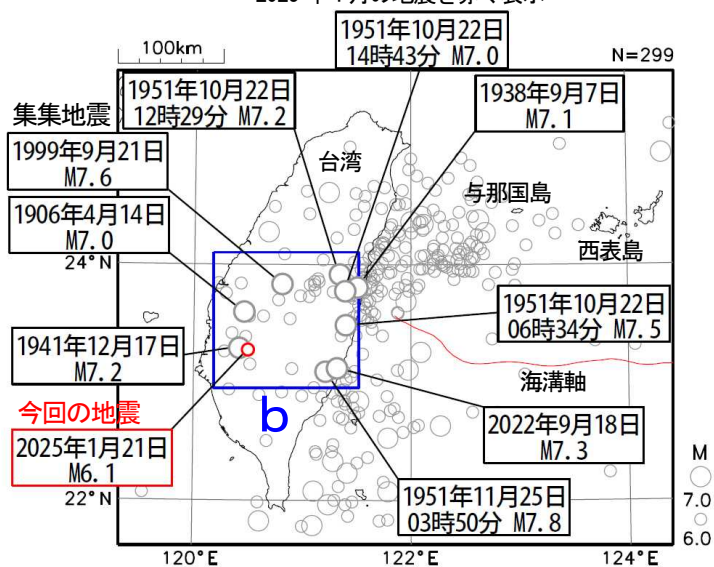
2025年1月21日01時17分に台湾付近でM6.1の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度1）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

2009年9月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域a）では、2016年2月6日にM6.4の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が3回発生した。

震央分布図

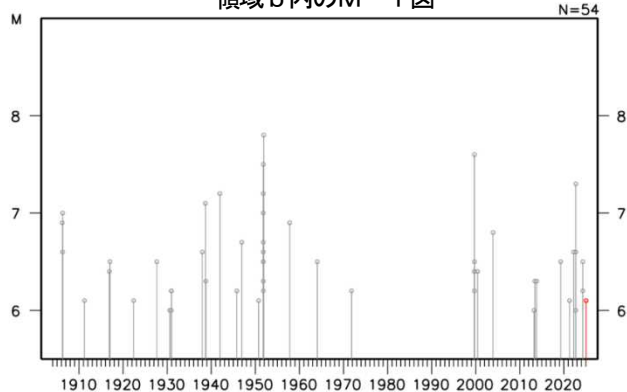
(1904年1月1日～2025年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

2025年1月の地震を赤く表示

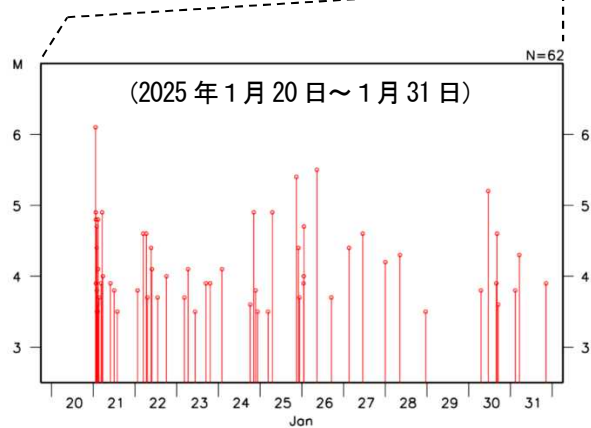
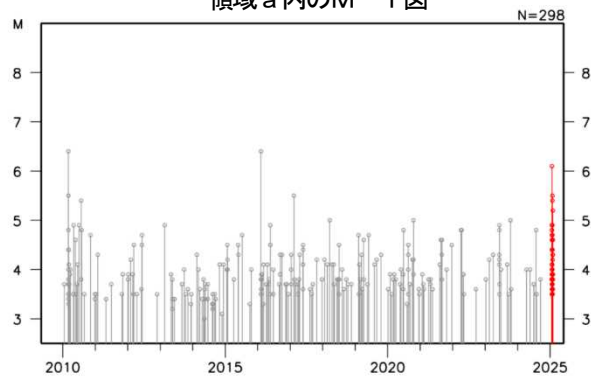


2020年までの震源要素はISC-GEM、
2021年以降の地震の震源要素は気象庁による

領域b内のM-T図



領域a内のM-T図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1999年9月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度2）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた（被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による）。

津波から身を守るために

2011年3月11日の東日本大震災では、死者・行方不明者が約2万人となっており、その多くが津波による被害となっています。

四方を海に囲まれた沖縄では、津波による影響は避けられません。3月に入ると県内各地で海開きが始まり、海のレジャーシーズンを迎えます。ここで皆さんに改めて意識していただきたいのが「津波から身を守るための避難」です。

こんなとき、津波から避難！

- ◆強い揺れを感じた。
- ◆弱くても長い時間ゆったりした揺れを感じた。
- ◆大津波警報、津波警報、津波注意報を見聞きした。
- ◆津波フラッグを見た。



津波フラッグ



海の近くでどれか1つでも当てはまったら、
海辺から離れて、安全な場所にすぐに避難しよう！



津波からすぐに避難するためには？

□ 危険な場所を確認しよう！

海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。自宅や学校、職場の周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形・標識から確認しておきましょう。



□ 避難場所を確認しよう！

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。



[沖縄県公式ホームページより]

□ 訓練に参加しよう！

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

アニメーション教材「津波からにげる」



気象庁HP:

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html



地震に関する情報は
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.htm>

沖縄気象台

検索

